

令和2年度 日教弘北海道支部奨励金給付団体

順不同・敬称略

団体 (代表者)	活 動 概 要
<p>北海道教育大学函館校 吹奏楽団</p> <p style="text-align: center;">(三笠 裕也)</p>	<p>昭和52年(1977年)創立 教員養成を柱とする北海道教育大学函館校にて、経験の有無を問わず吹奏楽の経験を重ねつつ将来の指導者の育成を目的に、本吹奏楽団が設立された。</p> <p>定期演奏会の開催や吹奏楽全国大会への出場、地域の小中学校に出張演奏に出向くなど、子どもたちの健全育成に貢献している。</p> <p>当団のOBは当団設立の主旨に応え、道内の学校にて吹奏楽のよき指導者として活躍している。</p> <p>「音楽は心」を合言葉に、「誰もが幸せになる音楽」「仲間を大切に作る心」を目標に掲げ、地域の吹奏楽及び音楽文化発展のために日々活動している。</p> <p>演奏技術向上だけではなく、地域社会への貢献と吹奏楽の発展と普及のため、訪問演奏や講習会指導など、知識と経験を活かし、様々な取組を行っている。</p> <p>今後も地域に演奏を披露・還元し、音楽文化発展に寄与するために、助成金を大型の打楽器の購入や修理及び演奏活動費等に充てたい。</p>
<p>函館豆記者交歓会</p> <p style="text-align: center;">(若山 直)</p>	<p>昭和51年(1976年)創立 沖縄の早期本土復帰願い、本土と沖縄を結ぶ青少年親善活動の一環として、沖縄からの豆記者を受け入れる都市として函館に豆記者交歓会を発足。</p> <p>小学生が豆記者であるという自覚をもって各地を訪ね、その土地の歴史や文化、人々の生活習慣について取材という活動を通じて直接目で見、肌で感じ、心に残ったことを「新聞」としてまとめている。さらに、豆記者同士の交流を通して心と心をふれあい、友情を深めている。</p> <p>函館市及び近隣市町の小学校に在籍する5年生を募集し、2年間かけて取材活動を行っている。取材旅行時の引率・指導には退職校長会函館支部の教育支援部が協力している。</p> <p>奨励金は東京取材の旅費や記録文集「羽ばたき」の作成費に活用したい。</p>

令和3年度は、主に「奉仕活動、学校教育に貢献する大学等の調査・学術研究」分野を中心に選考
(令和3年度の募集をもって終了)